

内山地区のこと 考えました

仕事・家・教育の視点から

街並みを考えるだけでなく、
教育の魅力を引き出すべきでは？

Education

通学の自由度をあげたい
越境通学ができるといいな。

Education

ゴミ袋に記名必須なのに
移住者としては抵抗がある

House / Life

まちに流動性がない。
(土地だけでなく技術なども)

空き家はあるが入れ替わる
準備がされていない。

House / Life

不利益 (ふべんえき)

=不便だからこそ、いろんなものが集まったら
いいアイデアが生まれたりする、という概念。

House / Life

少人数制の教育が魅力

Education

先生 1人に対して生徒 15人程で先生の目が届く魅力。
ただ1学年のみだと男女比がバラバラしているので、
縦割り編成にすれば、上の子は下の子のケアをしたり、
下の子は上の子をロールモデルにしたり。
他県では良い作用が生まれるのでは。

Education

車が飛ばして、歩道が狭く、
生活感と観光感のバランスが悪い

House / Life

観光感く生活感

外からすると観光地かもしれないが
住民にとっては暮らしの延長

House / Life

小学校や学級が少ない。

なにかあったときに
居場所がなくなってしまう。

Education

人の気配がまばら

House / Life

まちなかに小さな商いを実践できる
チャレンジショップがほしい!

House / Life

仏壇問題

House / Life

外の人は一歩踏み出せるが、
有田の人は不思議なほど保守的な印象。
先例がないと新しいことに踏み出せない。

Work Opportunity

建物があり店構えもあるのに
人がいない・シャッターが降りてるのが
がかえて寂しく感じる

House / Life

オンライン陶器市の
よりよい仕組みづくり

オンライン陶器市がきっかけで、
有田町にいままでなかった可能性が見えた。
もっと街を上げて新しい陶器市のあり方として
取り組むべきでは。リアルとオンラインが
相乗効果でもっと大きな効果が上がると思う

Work Opportunity

なかの人が住みやすいと思えば、
自然と広まり魅力は伝わるのでは。
あとは、住う場所を提供できるか。

House / Life

しんとした空気感が
有田内山独特の魅力

House / Life

どこを歩いても
街並みがきれい

House / Life

高齢者やまちの人にもっと
空き家の取り組みを伝えるべき

実はネットに載っていない空き家情報をもつのはまちの高齢者。
その人たちの情報を開いていけるように
空き家見学ツアーをイレブンテレビの番組にする、
かわら版にして回覧するとか、
もっとまちの中に発信すべきでは。

House / Life

産地見学ツーリズムをやりたい。
外からの就労を積極的に行えるし
作り手のモチベーションにもつながる!

Work Opportunity

帰ってきたい人がまず、考えるのが仕事、
地元に戻りたいとなると収入がみえない。
賃金の基準が安いのもネック...

Work Opportunity

外に向くよりも地域の人のための
場所や生業の多様性を
増やしていくことが必要だと思う

Work Opportunity

外への魅力発信ではなく、
安心して生活(経済活動)できることを
伝えることが大切ではないか。

House / Life

ITやECのリテラシーが低い。
陶器市の際にどこかが大きい場所をかりて、
配送するものを一箇所に集めれば、
配送手続きを高校生のバイトにお願いして
実地で経験積んでもらえるのでは?

Work Opportunity

本当は内山地区に戻りたいという話は
同窓会でよく耳にするけど、
空き家がなくて戻れない同級生が多い。

House / Life

窯業一辺倒な印象があるので
多様な産業を増やす必要があると思う

Work Opportunity

飲食業がまだまだ少ない
集う場がない

Work Opportunity

陶器市にも
移住相談コーナーを!

House / Life

ファミリーが住める
賃貸がほしい!

House / Life